

試験時間70分 解答は解答用紙に書いて、提出してください

(注) 試験時間が普段とは異なります

- 1 1 辺の長さが2の正四面体 $OABC$ において、辺 OA 上に点 P をとり、内積 $\overrightarrow{OA} \cdot \overrightarrow{PB} = 1$ とする。更に、辺 PB 上の点 Q を、 PB と CQ が垂直になるようにとる。
- (1) \overrightarrow{OP} を \overrightarrow{OA} を用いて表せ。 (2) $PB : PQ$ を求めよ。

- 2 点 $(1, -2, 0)$ を通り $\vec{a} = (2, 0, 1)$ に平行な直線を ℓ , 点 $(3, 12, -4)$ を通り $\vec{b} = (1, 1, 1)$ に平行な直線を m とする。点 P は ℓ 上, 点 Q は m 上を動くとき、線分 PQ の長さの最小値を求めよ。

- 3 点 $A(1, 2, 4)$ を通り、ベクトル $\vec{n} = (-3, 1, 2)$ に垂直な平面を α とする。平面 α に関して同じ側に2点 $P(-2, 1, 7)$, $Q(1, 3, 7)$ がある。
- (1) 平面 α に関して点 P と対称な点 R の座標を求めよ。
 (2) 平面 α 上の点で、 $PS + QS$ を最小にする点 S の座標とそのときの最小値を求めよ。

- 4 3点 $A(2, 0, 0)$, $B(0, 2, 0)$, $C(0, 0, 3)$ が定める平面に原点 O から垂線 OH を下ろす。 \overrightarrow{OH} を \overrightarrow{OA} , \overrightarrow{OB} , \overrightarrow{OC} で表すと、 $\overrightarrow{OH} = \overset{\text{ア}}{\square} \overrightarrow{OA} + \overset{\text{イ}}{\square} \overrightarrow{OB} + \overset{\text{ウ}}{\square} \overrightarrow{OC}$ である。

- 5 座標空間において、3点 $A(1, -1, 2)$, $B(2, 3, 3)$, $E(3, 3, 2)$ を通る平面上に点 C , D がある。四角形 $ABCD$ が正方形になるときの点 C , D の座標を求めよ。ただし、点 C , D の z 座標は正とする。

- 6 座標空間内に点 $P(5, 4, 2)$ を中心とする半径 7 の球面 S がある。原点 O からベクトル $\vec{a} = (1, 1, -2)$ の向きに出た光線が球面 S 上の点 Q で反射され、球面 S 上の点 R に達した。点 Q での反射により、点 R は直線 OQ と直線 PQ で作られる平面上にあり、直線 PQ は $\angle OQR$ を 2 等分することになる。
- (1) 球面 S の座標による方程式を求めよ。
 - (2) \vec{OQ} の成分を求めよ。
 - (3) 原点 O から直線 PQ に垂線 ON を下ろしたとき、 \vec{QN} の成分を求めよ。
 - (4) 直線 QR 上の点 M から直線 PQ に下ろした垂線と直線 PQ との交点が、 N と一致するとき、 \vec{QM} の成分を求めよ。
 - (5) \vec{OR} の成分を求めよ。

7 * 平面の問題

xy 平面で、動点 P は集合 $M = \{(x, y) \mid x^2 + y^2 \leq 1\}$ を、動点 Q は集合 $N = \{(x, y) \mid |x| + |y| = 3\}$ を動くとする。このとき、 $\vec{OR} = \vec{OP} + \vec{OQ}$ で表される点 R が動いてできる図形を図示し、その面積を求めよ。ただし、 O は原点とする。

8 *

$3\sin x + \cos x = c$ が $0 \leq x \leq \frac{\pi}{2}$ で異なる 2 つの解をもつような c の値の範囲を求めよ。